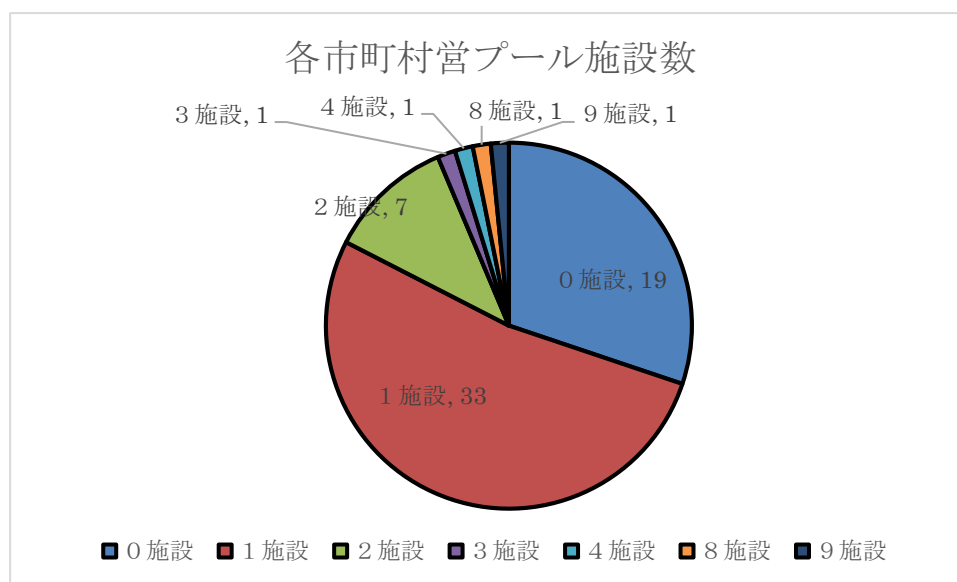


県内各市町村のプールの設置状況

資料 4

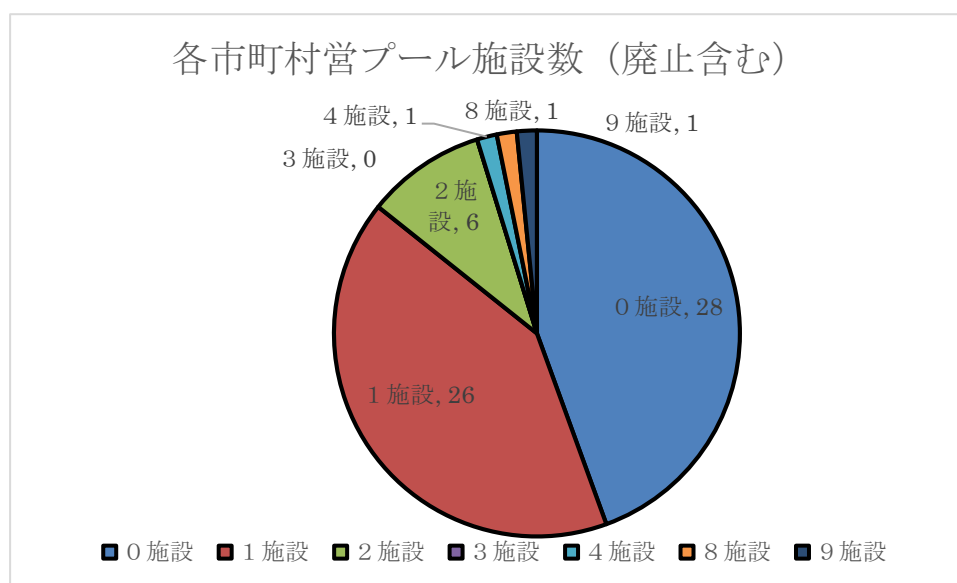
県内の40市22町1村のプール所管課に対し、別紙依頼文と調査表により市町村営プール施設について調査を実施し、49自治体から回答にご協力頂きました。なお、未回答の自治体については、ホームページ等からプール施設の有無のみ確認し集計しています。

〔施設数〕



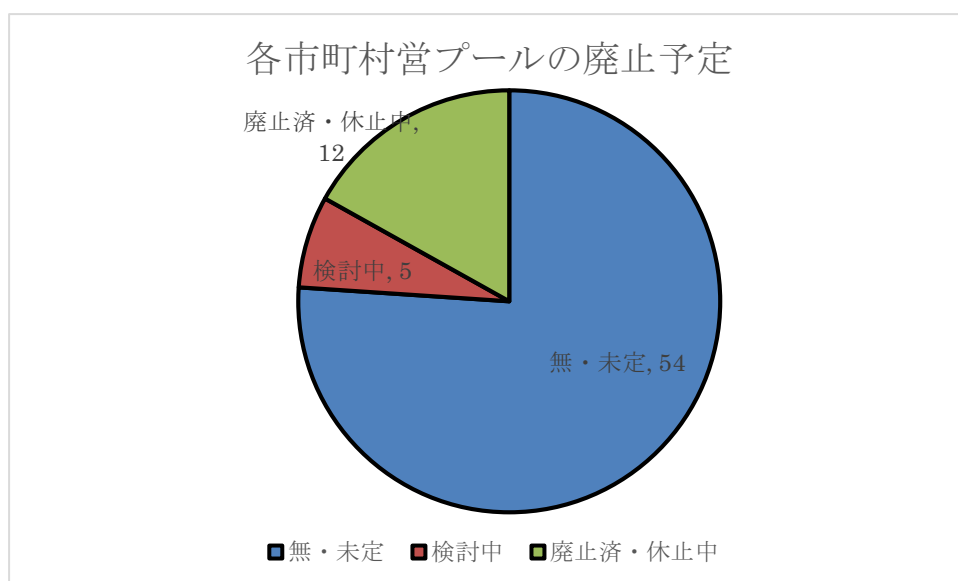
自治体あたりのプール数では、川口市が9施設、さいたま市が8施設、久喜市が4施設のプールを有しており、過半数の市町村が1つと回答がありました。

1市町村あたりの平均プール数は1.13施設です。



現在では、11施設が廃止済み、1施設が休止中のため、施設数0と1つの自治体がほぼ同数となっています。1市町村あたりの平均プール数は0.94施設です。

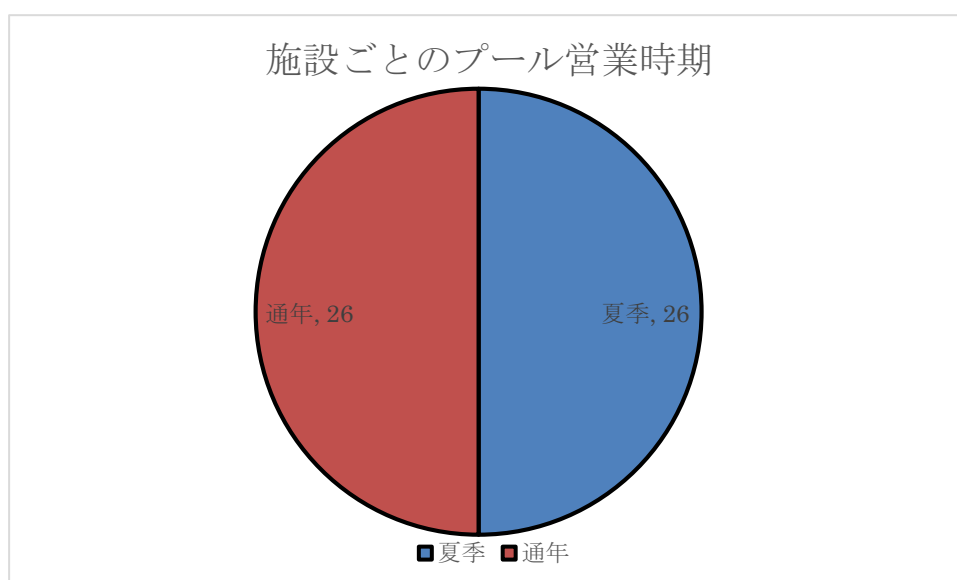
〔廃止予定〕



廃止をした施設は、設置から20～30年経過しており、理由は以下のとおりです。

- ・施設の老朽化
- ・利用者数の減少
- ・財政状況、施設修繕に多額の費用がかかる、維持費増加
- ・用地を他事業に転用するため

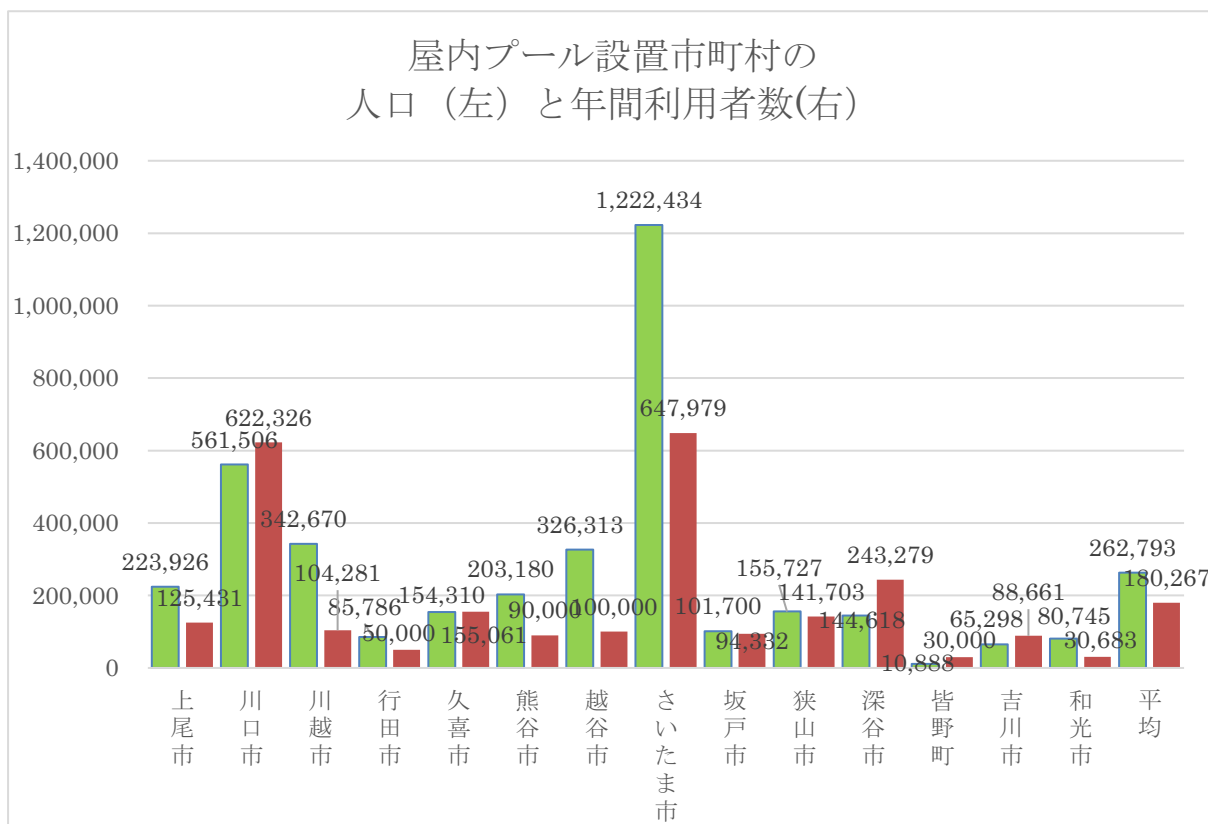
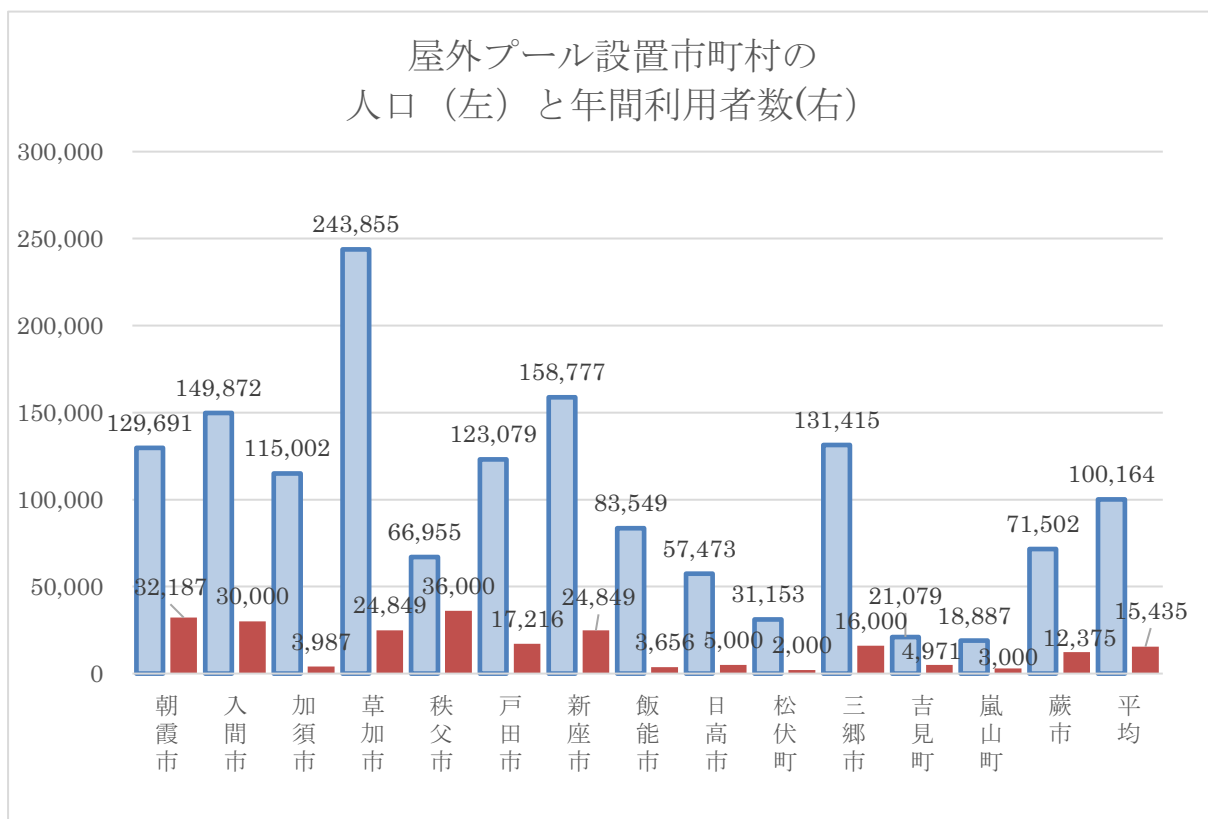
〔営業時期〕



各施設のプール営業時期は夏季のみと通年が同数となりました。

今回の調査対象からは、夏季営業の屋外プールでは昭和50年代～平成5年までの施設が多く見られます。

[通年の利用者数]



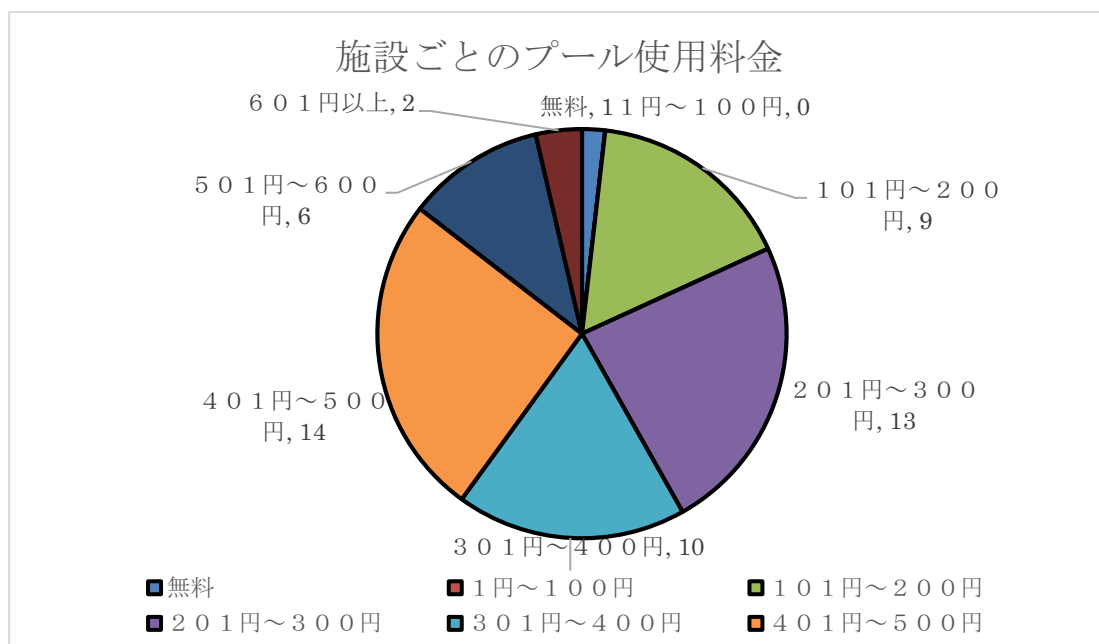
夏季のみ利用の施設と比較して、通年で利用している施設は年間利用者が人口を超える場合が見られます。特に、9つのプール施設を有する川口市と、大型プール施設を有する深谷市では人口を上回るプール利用者がいますが、これは通年で利用できる市町村営プールを求めて近隣都市からの利用者が多いことが考えられます。近隣市では、狭山市のサピオ稲荷山が人口と同程度の利用者数となっています。

また、県の総人口約720万人に対して現状では59施設の使用村営プールがあるため、人口122,000人に1つのプールが平均値となっています。

ダイヤ4市を比較すると、人口198,000人に対して1つのプールがある状況です。

- ・所沢市 人口 341,000人 プール施設数 1
- ・飯能市 人口 83,000人 プール施設数 1
- ・狭山市 人口 155,000人 プール施設数 2
- ・入間市 人口 140,000人 プール施設数 2

〔使用料〕



使用料は1000円～5000円の間で様々な金額設定が見られました。1,000円を超える使用料の施設では秩父ミュージックパークが1,800円、深谷市のパティオが1,000円と大規模な施設で高額な使用料設定となっていました。逆に、無料は加須市の市民親子プールの1施設で25mプールと親子プールのみのシンプルなプールです。

表から除外しましたが、施設運営は指定管理または委託がほとんどで、複数施設を所有する場合、個別に委託する場合と同一業者の場合が見られます。